



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 富士通フロンテック株式会社
コード番号 6945 URL <http://www.frontech.fujitsu.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 利根 廣貞

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 豊美 由喜夫

TEL 042-377-2544

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	67,090	△4.2	△1,221	—	△1,269	—	△1,141	—
24年3月期第3四半期	70,053	△1.3	△662	—	△1,005	—	△1,211	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △1,016百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △783百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△47.67	—
24年3月期第3四半期	△50.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	57,982	32,979	56.5	1,367.37
24年3月期	65,609	34,362	52.1	1,426.98

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 32,754百万円 24年3月期 34,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年3月期	—	8.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,600	0.4	2,300	△0.8	1,800	△12.4	300	△54.4	12.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	24,015,162 株	24年3月期	24,015,162 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	60,925 株	24年3月期	82,021 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	23,950,988 株	24年3月期3Q	23,927,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)6ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)連結財政状態に関する定性的情報	4
(3)連結業績予想に関する定性的情報	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1)四半期連結貸借対照表	7
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	10
第3四半期連結累計期間	10
(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4)継続企業の前提に関する注記	13
(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(6)セグメント情報等	13
(7)重要な後発事象	13
5. 補足情報	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、海外経済の減速を背景に、日本経済も弱含みの基調であり、日中関係の悪化等の新たなリスク要因も懸念されるなど予断を許さない状況が続きました。

このような環境のもと、金融ビジネスでは、海外向けメカコンポーネントの減少などにより減収となりました。流通ビジネスでは、国内向けPOSは増加したものの、北米ビジネスの所要の減少等により、減収となりました。また、産業・公共ビジネスにおいても、お客様の投資抑制により、トータルゼータ端末等が減少いたしました。一方、サービスビジネスは、店舗向けATMサービスを中心に堅調に推移いたしました。これらにより、連結売上高は67,090百万円（前年同期比4.2%減、2,963百万円の減）となりました。

損益につきましては、徹底的なコストダウンの推進、費用の削減に取り組みましたが、売上高の減少に伴う荒利益の減少が大きく影響し、連結営業損失1,221百万円（前年同期は662百万円の損失）、連結経常損失1,269百万円（同1,005百万円の損失）、連結四半期純損失1,141百万円（同1,211百万円の損失）となりました。

①当第3四半期連結累計期間の概況

(単位：百万円)

	2011年度 第3四半期連結累計期間 〔2011年4月1日～ 2011年12月31日〕		2012年度 第3四半期連結累計期間 〔2012年4月1日～ 2012年12月31日〕		前年同期比	
	売上高	売上高比(%)	売上高	売上高比(%)	増減率(%)	
売上高	70,053	100.0	67,090	100.0	△2,963	△4.2
営業損益	△662	—	△1,221	—	△558	—
営業外損益	△342	—	△48	—	294	—
経常損益	△1,005	—	△1,269	—	△264	—
特別損益	△475	—	△82	—	392	—
四半期純損益	△1,211	—	△1,141	—	69	—

2012年度第3四半期累計期間の平均為替レート：80.01円/米ドル、12.70円/中国元、0.071円/韓国ウォン
2011年度第3四半期累計期間の平均為替レート：79.00円/米ドル、12.30円/中国元、0.072円/韓国ウォン

(ご参考) 当第3四半期連結会計期間の概況(直近3ヶ月)

(単位：百万円)

	2011年度 第3四半期連結 会計期間	2012年度 第3四半期連結 会計期間	前年同期比	
			増減率(%)	
売上高	22,333	22,126	△206	△0.9
営業損益	△775	△318	456	—

②セグメント別の概況

(単位：百万円)

	2011年度 第3四半期連結累計期間 〔2011年4月1日～ 2011年12月31日〕		2012年度 第3四半期連結累計期間 〔2012年4月1日～ 2012年12月31日〕		前年同期比	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)		増減率(%)
金融ビジネス	26,331	37.6	25,026	37.3	△1,305	△5.0
流通ビジネス	15,059	21.5	13,735	20.5	△1,323	△8.8
産業・公共ビジネス	16,244	23.2	15,659	23.3	△584	△3.6
サービスビジネス	12,418	17.7	12,668	18.9	250	2.0
計	70,053	100.0	67,090	100.0	△2,963	△4.2
国内	53,433	76.3	53,753	80.1	320	0.6
海外	16,620	23.7	13,336	19.9	△3,283	△19.8

	営業損益		営業損益		前年同期比
金融ビジネス	945		20		△924
流通ビジネス	△2,244		△2,230		13
産業・公共ビジネス	△14		223		238
サービスビジネス	650		764		113
計	△662		△1,221		△558

当第3四半期連結累計期間における各セグメント別の概況は以下のとおりです。

＜金融ビジネス＞

金融ビジネスにつきましては、ATM および手のひら静脈認証システムが伸長したことに加え、下期から地方銀行、労働金庫向けを中心に営業店端末が増加いたしました。しかしながら、韓国向けを中心としたメカコンポーネントの所要の減少に加え、ICカード基本形対応パッケージの需要が一巡したことなどにより、連結売上高は25,026百万円（前年同期比5.0%減、1,305百万円の減）となりました。

損益につきましては、売上高の減少に伴う荒利益の減少を主因に、連結営業利益は20百万円と前年同期比では924百万円の減少となりました。

＜流通ビジネス＞

流通ビジネスにつきましては、国内向けPOSは増加いたしました。また、北米におきましては、市場の競争激化と価格下落により、POSおよびセルフチェックアウトシステムの売上が大幅に減少したことなどから、連結売上高は13,735百万円（同8.8%減、1,323百万円の減）となりました。

損益につきましては、徹底的な固定費の削減等に努めましたが、北米ビジネスを中心とした売上高の大幅な減少の影響が大きく、連結営業損失は2,230百万円となりました。

今後も新機種TeamPoS7000を中心に戦略的な拡販に努め、売上高の拡大を図るとともに、引き続き徹底した費用の効率化ならびにコストダウンを推進してまいります。

＜産業・公共ビジネス＞

産業・公共ビジネスにつきましては、公営競技向けトータリゼータ端末がお客様の投資抑制により減少しました。一方、スマートフォンのテスト支援ソリューションは引き続き好調に推移しました。これらにより、連結売上高としては15,659百万円（同3.6%減、584百万円の減）となりました。

損益につきましては、経費の節減等に強力に取り組んだことや、前年度に集中したトータリゼータ端末の新機種の開発が一巡したことなどにより、連結営業利益は223百万円となり、前年同期比では238百万円増加いたしました。

＜サービスビジネス＞

サービスビジネスにつきましては、店舗向けATMサービスおよび流通保守サービスが堅調に推移したことに加え、ATMアウトソーシングの新規顧客の立ち上げなどにより、連結売上高12,668百万円（同2.0%増、250百万円の増）、連結営業利益は前年同期比で113百万円増加し、764百万円を計上することができました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債・純資産の状況

(単位:百万円)

	2011年度 連結会計年度末 (2012年3月31日)		2012年度 第3四半期連結会計期間末 (2012年12月31日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
流動資産	45,498	69.3	36,368	62.7	△9,130	△20.1
(現金及び預金等)	(2,011)	(3.1)	(2,195)	(3.8)	(183)	(9.1)
(受取手形及び売掛金)	(25,306)	(38.6)	(15,251)	(26.3)	(△10,055)	(△39.7)
(たな卸資産)	(15,434)	(23.5)	(15,276)	(26.3)	(△158)	(△1.0)
固定資産	20,110	30.7	21,613	37.3	1,502	7.5
資産合計	65,609	100.0	57,982	100.0	△7,627	△11.6
流動負債	28,658	43.7	21,595	37.2	△7,062	△24.6
(支払手形及び買掛金)	(17,280)	(26.3)	(12,550)	(21.6)	(△4,729)	(△27.4)
(短期借入金)	(4,553)	(6.9)	(3,151)	(5.4)	(△1,402)	(△30.8)
固定負債	2,588	3.9	3,407	5.9	818	31.6
負債合計	31,246	47.6	25,002	43.1	△6,243	△20.0
株主資本	34,599	52.7	33,088	57.1	△1,510	△4.4
その他の包括利益累計額	△447	—	△334	—	112	—
少数株主持分他	210	0.3	224	0.4	14	6.7
純資産合計	34,362	52.4	32,979	56.9	△1,383	△4.0
負債純資産合計	65,609	100.0	57,982	100.0	△7,627	△11.6

自己資本	34,152	32,754	△1,397	△4.1
自己資本比率	52.1%	56.5%	4.4%	

2012年度第3四半期末の為替レート:86.58円/米ドル、13.91円/中国元、0.081円/韓国ウォン
2011年度末の為替レート:82.14円/米ドル、13.05円/中国元、0.072円/韓国ウォン

<資産、負債、純資産の状況>

資産については、前年度末に集中した売上に係る受取手形及び売掛金を回収したことにより、7,627百万円減少し、57,982百万円となりました。

負債については、支払手形及び買掛金の支払いを行ったこと、および前年度末にかけて運転資本の減少に対応し調達した短期借入金の返済を行ったことなどにより、6,243百万円減少し、25,002百万円となりました。

純資産については、主として当期純損失等の影響により1,383百万円減少し、32,979百万円となりました。自己資本比率は、有利子負債および総資産を圧縮したことにより56.5%と前年度末から4.4ポイント増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2011年度 第3四半期連結累計期間 〔2011年4月1日～ 2011年12月31日〕	2012年度 第3四半期連結累計期間 〔2012年4月1日～ 2012年12月31日〕	前年同期比
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
(税金等調整前四半期純損失(△))	(1,480)	(1,352)	(128)
(減価償却費及びのれん償却額)	(3,076)	(3,351)	(275)
(売上債権の増減額(△は増加))	(9,608)	(10,178)	(570)
(たな卸資産の増減額(△は増加))	(4,860)	(262)	(5,123)
(仕入債務の増減額(△は減少))	(617)	(4,855)	(4,238)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,514	5,922	2,407
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,693	△3,122	△428
I+IIフリーキャッシュ・フロー	820	2,799	1,979
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,456	△2,596	△139
現金及び現金同等物に係る換算差額	△235	86	321
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,871	290	2,161
現金及び現金同等物の期首残高	5,808	1,894	△3,913
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,936	2,184	△1,751

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、5,922百万円のプラスとなりました。前年度末に集中した売上に係る売掛金を回収したことによる売上債権の減少、および前年第4四半期に本格出荷を開始したATM新機種、グローバル紙幣還流ユニット・グローバルPOSの新モデルの部材支払い等による仕入債務の減少が主要因であります。前年同期比では2,407百万円の収入増となりました。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,122百万円のマイナスとなりました。固定資産の取得による支出が主要因であります。前年同期比では428百万円の支出増となりました。

結果、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリーキャッシュ・フローは2,799百万円のプラスとなり、前年同期比では1,979百万円の収入増となりました。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,596百万円のマイナスとなりました。これは、短期借入金の返済が主要因であります。前年同期比では139百万円の支出増となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は、290百万円増加し2,184百万円となりましたが、前年同期末比では1,751百万円減少いたしました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、北米市場における流通ビジネスの落ち込みを主因に、年間売上高は101,600百万円となる見込みであります。

損益につきましては、売上高の減少に伴う荒利益の減少等により、営業利益は2,300百万円、経常利益は1,800百万円となる見込みであります。また、純利益につきましては、営業利益の減少に加え、北米子会社の構造改善の追加施策などを見込み、300百万円と予想しております。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成24年10月30日発表)	103,500	2,800	2,300	1,000	41円75銭
今回修正予想 (B)	101,600	2,300	1,800	300	12円53銭
増減額 (B-A)	△1,900	△500	△500	△700	—
増減率(%)	△1.8	△17.9	△21.7	△70.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	101,150	2,319	2,054	657	27円47銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,856	2,069
預け金	155	125
受取手形及び売掛金	25,306	15,251
製品	5,959	5,214
仕掛品	6,985	7,100
原材料及び貯蔵品	2,489	2,961
繰延税金資産	1,225	1,784
その他	1,564	1,905
貸倒引当金	△44	△45
流動資産合計	45,498	36,368
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,852	2,877
機械装置及び運搬具(純額)	535	497
工具、器具及び備品(純額)	5,159	6,354
土地	2,008	2,029
建設仮勘定	766	842
有形固定資産合計	11,321	12,601
無形固定資産		
のれん	2,928	2,574
ソフトウェア	3,351	3,953
その他	43	35
無形固定資産合計	6,323	6,564
投資その他の資産		
投資有価証券	327	517
繰延税金資産	992	864
その他	1,179	1,100
貸倒引当金	△32	△34
投資その他の資産合計	2,465	2,447
固定資産合計	20,110	21,613
資産合計	65,609	57,982

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,280	12,550
短期借入金	4,553	3,151
リース債務	819	937
未払金	2,491	2,597
未払費用	2,550	1,520
未払法人税等	398	66
預り金	116	396
役員賞与引当金	49	33
不採算損失引当金	1	—
その他	397	342
流動負債合計	28,658	21,595
固定負債		
リース債務	1,378	2,206
長期未払金	90	2
退職給付引当金	946	1,005
役員退職慰労引当金	35	34
資産除去債務	137	158
固定負債合計	2,588	3,407
負債合計	31,246	25,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,457	8,457
資本剰余金	8,226	8,226
利益剰余金	17,969	16,444
自己株式	△53	△39
株主資本合計	34,599	33,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△124	△10
繰延ヘッジ損益	59	12
為替換算調整勘定	△382	△337
その他の包括利益累計額合計	△447	△334
新株予約権	78	80
少数株主持分	132	144
純資産合計	34,362	32,979
負債純資産合計	65,609	57,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	70,053	67,090
売上原価	57,520	56,173
売上総利益	12,533	10,916
販売費及び一般管理費	13,196	12,138
営業損失(△)	△662	△1,221
営業外収益		
受取利息	22	17
受取配当金	3	3
為替差益	—	122
雑収入	51	34
営業外収益合計	77	177
営業外費用		
支払利息	69	72
為替差損	276	—
固定資産廃棄損	14	79
出向者人件費負担額	26	39
雑支出	33	33
営業外費用合計	419	225
経常損失(△)	△1,005	△1,269
特別損失		
事業構造改善費用	94	—
災害による損失	8	—
関係会社株式譲渡損	149	—
関係会社株式譲渡関連損失	223	—
ゴルフ会員権評価損	—	11
子会社移転費用	—	70
特別損失合計	475	82
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,480	△1,352
法人税、住民税及び事業税	296	245
法人税等調整額	△567	△469
法人税等合計	△270	△223
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,210	△1,129
少数株主利益	1	12
四半期純損失(△)	△1,211	△1,141

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,210	△1,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	114
繰延ヘッジ損益	37	△46
為替換算調整勘定	490	44
その他の包括利益合計	426	112
四半期包括利益	△783	△1,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△784	△1,029
少数株主に係る四半期包括利益	1	12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,480	△1,352
減価償却費	2,721	2,998
のれん償却額	354	353
関係会社株式譲渡関連損失	223	—
関係会社株式譲渡損	149	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△302	47
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5	△1
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13	△15
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△26	—
不採算損失引当金の増減額(△は減少)	8	△1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	2
株式報酬費用	22	16
受取利息及び受取配当金	△25	△20
支払利息	69	72
為替差損益(△は益)	205	△52
固定資産売却益	△0	△0
固定資産売却損	1	—
固定資産廃棄損	24	81
ゴルフ会員権評価損	—	11
子会社移転費用	—	70
売上債権の増減額(△は増加)	9,608	10,178
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,860	262
未払費用の増減額(△は減少)	△1,098	△1,019
仕入債務の増減額(△は減少)	△617	△4,855
確定拠出年金移行時未払金の減少額	△8	—
その他	△236	△61
小計	4,702	6,717
利息及び配当金の受取額	26	20
利息の支払額	△69	△73
法人税等の支払額	△1,144	△742
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,514	5,922
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△141	—
定期預金の払戻による収入	35	102
有形固定資産の取得による支出	△1,485	△3,198
有形固定資産の売却による収入	294	1,539
無形固定資産の取得による支出	△1,116	△1,703
投資有価証券の取得による支出	△278	△12
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	464	—
貸付けによる支出	△11	△14
貸付金の回収による収入	156	220
その他投資活動による支出	△616	△62
その他投資活動による収入	6	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,693	△3,122

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,374	△1,521
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△382	△383
リース債務の返済による支出	△699	△691
少数株主への配当金の支払額	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,456	△2,596
現金及び現金同等物に係る換算差額	△235	86
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,871	290
現金及び現金同等物の期首残高	5,808	1,894
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,936	2,184

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	金融ビジネス	流通ビジネス	産業・公共ビジネス	サービスビジネス	
売上高	25,026	13,735	15,659	12,668	67,090
営業利益又は 営業損失(△)	20	△2,230	223	764	△1,221

② 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

平成25年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	24年4月～24年6月	24年7月～24年9月	24年10月～24年12月	25年1月～25年3月
売上高	19,858	25,105	22,126	
売上総利益	2,460	4,803	3,652	
営業利益又は損失(△)	△1,813	910	△318	
経常利益又は損失(△)	△1,972	743	△39	
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	△1,972	731	△110	
四半期純利益又は純損失(△)	△1,330	342	△153	
1株当たり四半期純利益 又は純損失(△)	△55円58銭	14円30銭	△6円40銭	

総資産	57,982	58,910	57,982	
純資産	32,759	33,112	32,979	
1株当たり純資産	1,359円28銭	1,373円08銭	1,367円37銭	
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,468	△1,953	1,407	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△964	△1,578	△579	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,916	1,045	△725	
現金及び現金同等物期末残高	4,446	1,938	2,184	

平成24年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	23年4月～23年6月	23年7月～23年9月	23年10月～23年12月	24年1月～24年3月
売上高	20,487	27,233	22,333	31,097
売上総利益	3,531	5,481	3,520	7,446
営業利益又は損失(△)	△748	861	△775	2,982
経常利益又は損失(△)	△878	601	△728	3,059
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	△1,342	589	△728	3,049
四半期純利益又は純損失(△)	△952	260	△519	1,869
1株当たり四半期純利益 又は純損失(△)	△39円81銭	10円88銭	△21円73銭	78円10銭

総資産	58,524	59,315	57,860	65,609
純資産	32,386	33,049	32,388	34,362
1株当たり純資産	1,345円30銭	1,372円02銭	1,344円46銭	1,426円98銭
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,728	△2,546	1,333	△2,539
投資活動によるキャッシュ・フロー	△529	△1,276	△888	△1,837
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,349	152	△260	2,267
現金及び現金同等物期末残高	7,576	3,740	3,936	1,894